

学科名	A I システム科
コース名	
授業科目	インターンシップ3
必選	選
年次	2年次
実施時期	後期
種別	実習
時間数	150
単位数	5
担当教員	
実務経験	
実務経験職種	
授業概要	<p>インターンシップとは「就労体験」のことである。本カレッジの場合は、長期のインターンシップを夏休みに実施している。夏季インターンシップは学校のサポートのもと1年次の8～9月の夏休み期間に実施される。インターンシップの期間は1週間～2週間が多い。学校の授業で学習した内容を活かす場でもあり、実践的なカリキュラムが各企業で実施される。実習は、受入先企業、あるいはそのユーザ先企業の社内となっている。最終的な評価については各企業の担当者の方に依頼する。</p>
到達目標	<p>インターンシップとは、学生が在学期間中に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うことを指す。本カレッジのインターンシップは、産業界の協力を得て実践的な体験と動機づけにより将来の企業人を育成することを目的とする。インターンシップでは、企業活動の一端に触れることにより、次の事項に関してなんらかの学習効果を期待する。1つ目に企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解すること。2つ目に企業の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解すること。3つ目に学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを確認し、今後の学習への動機づけをすることである。</p>
授業方法	<p>学生が在学期間中に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行い、実践的な体験と動機づけにより将来の企業人を育成する。具体的には、以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解する。 ・企業の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解すること。 ・学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを確認し、今後の学習への動機づけをする
成績評価方法	<p>以下の事項を総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の提出状況、課題から判断する授業理解度、授業出席率、授業への参加態度
履修上の注意	<p>インターンシップ開始前に担当教員と顔合わせに行く。また、インターンシップ活動賠償責任保険（総合賠償責任保険）に事前に加入すること。勤務時は受入先から特に指定がない場合は原則、スーツを着用する。期間中に電車遅延や体調不良で遅刻・欠勤する場合は必ず電話連絡すること。無断欠勤や勤務時の態度が悪い場合は、インターンシップを中断する可能性があるため、やむを得ない事情がある場合は、受入先企業、担任に速やかに連絡する。その他、社会人として必須のマナーを守ってインターンシップに参加すること。</p>
教科書・教材	配布資料

授業計画

第1回	インターンシップ参加(1)
第2回	インターンシップ参加(2)
第3回	インターンシップ参加(3)
第4回	インターンシップ参加(4)
第5回	インターンシップ参加(5)
第6回	インターンシップ参加(6)
第7回	インターンシップ参加(7)
第8回	インターンシップ参加(8)
第9回	インターンシップ参加(9)
第10回	インターンシップ参加(10)
第11回	成果報告会の実施(1)
第12回	成果報告会の実施(2)
第13回	成果報告会の実施(3)
第14回	成果報告会の実施(4)
第15回	成果報告会の実施(5)